



編集・発行

夙川地域

コミュニティ協議会



西宮市教育委員会のもと、市内の多くの青少年補導委員が地域の子どもたちを見守っています。

夙川小学校区でも、子どもたちの下校時や公園で遊んでいる時間帯に合わせて声をかけながらパトロールしています。子どもたちにとって、地域が安心・安全な居場所になるように活動しています。



子どもたちの安全を見守って

西宮市青少年補導委員

夙川小学校区

西宮市青少年補導委員 (夙川小学校区)

代表 坂尻京子

夙川小学校区では5人の補導委員が月3回、地域の公園や通学路をパトロールしています。市役所で定期開催される代表者会や勉強会に出席し、市内の他学区の皆さんと意見交換をして、子どもたちが安全で楽しく暮らせる環境を整えるお手伝いをしています。

蛍光色の黄色いベストを着ているパトロール隊は、子どもたちや出会った方にできるだけ声を掛けていますので、見かけたり声掛けされたときは返してくださいと大変うれしいです。

構成メンバー

- 夙川小学校 PTA
 - 大社中学校 PTA
 - 苦楽園中学校 PTA
 - 夙川地区民生委員児童委員協議会
 - 夙川地区青少年愛護協議会
- 各団体から1人ずつ

市の委嘱

任期は6月～翌年5月

2月6日のパトロール (街頭巡回補導)



「ここは危ないね」

「横断歩道があるといいね」

危険な場所もチェック



大谷町を北へ。高塚公園を目指して

15:00 夙川グリーンタウンをスタート。皿池広場を目指して

放課後もみんなで楽しんで！ 「放課後キッズルーム事業」

西宮市と教育委員会では、「放課後キッズルーム事業」として「夙川こども広場・こどもルーム」を夙川小学校で開設しています。



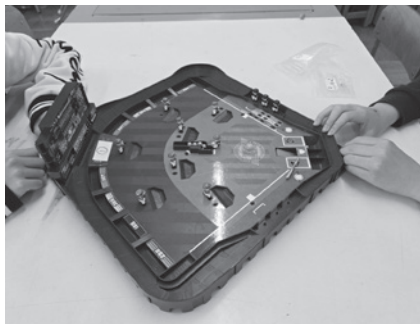
こどもルーム入り口

放課後の運動場や教室を活用して子どもの居場所をつくり、自主的な遊びや学習を通して子どもの育ちを支援するものです。

夙川こども広場・こどもルームでは、コーディネーターを中心に、現在19人のサポーターが登録して運営しています。夙川小学校の児童であれば誰でも利用でき、受付で名前を書いて運動場や校舎内の専

用の1室で過ごします。

運動場でサッカーなどの球技をする子どもたち、室内で宿題をしたりボードゲームで遊んだりする子どもたち、サポーターと話す子どもたち。自由に、にぎやかに過ごしています。



みんな大好き野球盤

2月には、大手前大学吹奏楽部によるコンサートが、放課後の体育館で開催されました。多くの子どもたちが訪れて楽しみ、その合間には、楽器や指揮棒に触れることもできました。



2月のコンサートの様子

楽器を近くで見る子どもたち



（西宮市HPより）保護者の皆さまへ

- 事業を実施する際は、不審者への対応や子供たちが危険な行為を始めた際の声かけをするサポーターを配置しますが、お子さんをお預かりして面倒を見る預かりの場ではありません。実施する学校のおさんは誰でも参加していただけますが、あくまで自分の責任で自由に遊び・学ぶ空間を提供するものです。
- ※学校及び学校教職員は、この事業への直接的な関係はありません

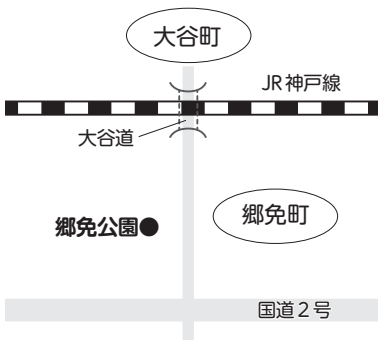


春には桜がきれいです

小さな子どもから高齢者まで、憩いの場として親しまれています。



かわいらしい遊具



郷免町・御茶家所町自治会の防災訓練や夏休みラジオ体操の会場になり、地域住民での清掃も行われています。



ウーちゃん・カンちゃんのマンホール

郷免公園は、JR神戸線の下にある小さなトンネル「大谷道」を南に下った、芦屋市との境にあり、10年ほど前にできました。

公園内には、西宮市消防マスコットのウーちゃん・カンちゃんが描かれた、カラフルな防火水槽のマンホールもあります。

お散歩に行きませんか？

その4 郷免公園

地域の公園紹介



楽しく学ぶ

夙川公民館

地域学習推進員会の

講座

新春コンサート

共催 夙川自治会

夙川地区社会福祉協議会

90歳を迎えたジャズピアノニスト・大塚善章さんを招いて、1月9日に公民館ホールで新春コンサートが開かれました。大塚さんは、海外でもコンサート活動を繰り広げるなど、幅広く活躍してきた関西ジャズ界の大御所。昨年には日本ジャズ大賞が贈られました。

この日は、バイオリンの長野昭子さん、ベースの岩田晶さんとのトリオで、スタンダードナンバーや映画音楽を取り上げました。大塚さんが力強いタッチで音を繰り出すと、長野さんがしなやかな調べで応じ、岩田さんが手堅く2人を支えます。息の合った演奏に、満場の会場から大きな拍手が送られていました。

防災講座

共催 夙川自治会

夙川地区社会福祉協議会

地域防災とローリングストックをテーマに1月24日、防災講座が開催されました。阪神・淡路大震災の教訓の風化が指摘される一方、東南海地震への懸念が高まる中で、改めて防災への意識を高めてもらうのが狙いです。

市・防災危機管理課の担当者による講演では、地震発生時にどう動くかを説き、いつもの食品を少し多めに買い置き、賞味期限が近づいたものから食べては補充する「ローリングストック」を勧めました。

この後、参加者22人は震災当時に振り返ってグループで討論。自宅が倒壊した人、遠方にいた人などさまざまな話がありました。



市と協力

地域住民で公園清掃

夙川地域内の二つの自治会は、それぞれの公園清掃などを市と協定を結んで行っています。

地域コミュニティ活動の拠点となっている公園や児童遊園の清掃など、維持管理を市と力を合わせて行うものです。

「郷免公園」

第2・4日曜日 9時〜

郷免町・御茶家所町自治会

大型マンションの隣にできた郷免公園を、平成28（2016）年秋から清掃しています。



高塚自治会

「高塚公園」

第2・4土曜日 8時〜



子どもたちも頑張っています

「じいじたちと一緒に、いつも来ているよ」と夙川小学校2年生の女の子。いつも参加している人を見ないと、どうされたのかな？ と気になります」と世話をしている女性。公園清掃が地域住民のつながりもつくっています。



慣れた作業です

ロウバイの公園として知られている高塚公園。宅地開発で新しい住民が増えた高塚自治会で、平成30年秋から始まりました。

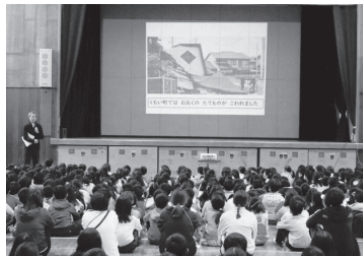
若い家族の参加も多く、新しい住民同士が知り合う場にもなっています。公園で始まった「高塚まつり」の運営も、このつながりから広がっています。

活動日時は、変更することがあります。

夙小「1.17 追悼集会」 忘れてはならない日

夙川小学校の阪神・淡路大震災の追悼集会が、今年も全校生が参加して1月17日に行われました。

夙川小学校でも亡くなった児童がいました。約1200人が体育館に避難していました。映像や先生たちの話から、児童たちはさまざまな思いを持ったようです。



話に聞き入る子どもたち

公衆電話・・・今ではモバイルバッテリーや充電サービスも充実し、「いざ」というときの頼みの綱だった公衆電話の番号は少ないかもしれません。

設置数は少なくなりましたが、公衆電話の設置場所を知っていると、外出中に携帯電話を紛失したときや電池切れ、どうしても連絡が必要になったときに便利です。

公衆電話にまつわる、皆さんのエピソード、聞いてみました。

40代女性

スマートフォンを忘れた時に助けられたのが公衆電話です。昔ほどは使わなくなりましたが、災害時の非常電話や誰もが簡単に使える通信手段として、今でもあると安心できる存在です。

50代女性

阪急夙川駅前の店で買い物をしていたら、配達業者さんらしき人が入ってきて「この辺に公衆電話ありませんか?」と。店員さんも分からなくて困っていたようでした。携帯電話を見知らぬ人に貸すのもためられる昨今です。

小3男児

生まれて初めて経験しました。とても面白かったです。携帯電話と違って押した番号が見えないので、違う番号にかけていないか緊張しました。お金を入れて掛けたので、10円でいつ電話が切れてしまうか分からず、ドキドキしました。



夙川公民館前の公衆電話

公衆電話

20代男性

子どもの頃、学校の帰り道に母や祖母へ連絡するため、公衆電話をよく使っていました。当時は携帯電話がなく、テレホンカードを常備していたものです。

小2男児

公衆電話を見たことはあったけど、キッズケータイがあるので使うことがありませんでした。お金を持っていなくても、公衆電話から110番や119番に電話をかけられることは知りませんでした。透明のボックスの中は暖かかったです。

近隣の公衆電話設置場所



設置場所

110番通報などの緊急通報は、無料でかけることができます。停電時も硬貨で使用可能。災害時には固定電話や携帯電話はつながりにくくなりますが、公衆電話は通信制限を受けず優先的につながるなど、公共サービスとしての役割を担っています。

通話料金は10円で56秒。携帯電話は10円で15秒です。
(国際電話やIP電話などは別料金)
NTT西日本HPより

災害時などに

役に立つ公衆電話

いざというときに慌てないように、硬貨の用意と設置場所、使用方の確認が必要かもしれません。災害時、避難所などには、被災者が無料で使用できる特設公衆電話が設置されます。

